

提案

日付：2026/8/18

件名：ゲリラ豪雨対策 排水溝の維持管理

1. 問題、課題

- 町内にある多くの排水溝には蓋がされている。
- 転落防止など安全対策のために蓋がされていることは十分理解している。
- 一方、排水溝の中が容易に確認することができず、排水状況など分からないデメリットもある。
- 昨今ゲリラ豪雨により、排水が間に合わず、道路が川のようになることもある。

2. 改善案

- 排水溝を綺麗にしたいと個人で考えているが、ひとつ悩みの種がある。
 - それは、排水溝に溜まっている土砂などの処理です。
 - 町内清掃の一環で排水溝掃除を行い、そこで出た「土砂の回収」も町でやっていただけると大変助かります。
 - 費用が掛かるので、毎年ではなく、まずは2年に1回、3年に1回で行い効果確認をする。
- また土砂の回収や土砂の処理を地元企業にお願いする。

3. 改善後の効果

- 排水の流れが改善され、道路の冠水が抑制される。
- 付帯効果として、地元企業にお金が入り、経済が少し良くなる。

回答

<ゲリラ豪雨対策 排水溝の維持管理>

【所管：道路課】

ご提案いただきありがとうございます。また、日頃より町道路行政にご理解いただき重ねて感謝申し上げます。道路側溝を清掃していただくお気持ちに感謝申し上げます。

近年は以下のような全国的な傾向と実情を踏まえ、住民による側溝の蓋開け・清掃をお願いすることを控えております。

- ・側溝の蓋を扱う際に指を挟む怪我などの事故発生リスク
- ・汚泥に含まれる細菌や有害物質による感染・健康被害の可能性

- ・清掃実施に伴う出欠や役割分担をめぐる住民間のトラブルや負担増加
- ・地域の高齢化により重作業への参加が困難であること
- ・側溝清掃、汚泥処分は限られた業者でしか行えない

以上の理由から、安全確保・健康保護および公平性の観点から、側溝清掃は行政が責任を持って実施することとしております。今後も定期点検や清掃計画に基づき、必要な対応を行ってまいります。

なお、側溝の詰まり等の恐れなど具体的なご心配がある箇所があれば、道路課窓口までご連絡ください。

貴重なご提案、ありがとうございました。今後とも町政へのご意見をお寄せいただければ幸いです。